



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 株式会社S T I フードホールディングス 上場取引所 東
コード番号 2932 URL <https://www.stifoods-hd.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 十見 裕
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務本部長 (氏名) 高橋 敏 TEL 03 (3479) 6956
半期報告書提出予定日 2024年8月8日 配当支払開始予定日 2024年9月2日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	16,694	12.5	1,491	44.1	1,495	39.2	1,010	46.9
2023年12月期中間期	14,835	15.3	1,035	53.1	1,074	52.5	687	46.6

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 1,033百万円 (46.2%) 2023年12月期中間期 707百万円 (38.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	170.58	165.99
2023年12月期中間期	116.09	113.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	16,496	7,946	48.2
2023年12月期	15,102	7,446	49.3

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 7,946百万円 2023年12月期 7,446百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	90.00	90.00
2024年12月期	—	40.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	70.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	10.1	2,800	21.4	2,800	20.2	1,800	15.2	303.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期中間期	5,926,300株	2023年12月期	5,926,300株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	199株	2023年12月期	199株
③ 期中平均株式数(中間期)	2024年12月期中間期	5,926,101株	2023年12月期中間期	5,926,196株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 決算補足説明資料の入手方法

決算説明会(機関投資家・アナリスト向け)の資料は、説明会終了後に当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況.....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書.....	6
中間連結包括利益計算書.....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の概況

当社グループは食品製造販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、好調なインバウンド需要や企業業績の堅調さから底堅く推移しました。一方で幅広い分野における物価上昇の影響による実質賃金の減少が継続しており、生活防衛意識の高まりから個人消費の回復は停滞しております。世界経済においては、金融資本市場の変動リスクや中国経済の停滞、国際紛争の長期化等、先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、円安進行による原材料・資材価格の上昇や人件費・水道光熱費の上昇による製造コストの継続的な上昇が見込まれる中で、消費者の節約志向や多様化するニーズに対応した商品企画が求められております。

このような環境の中、当社グループは「持続可能な原材料・製造への取り組み」「フードロスの削減への取り組み」「環境への配慮」「原料調達から製造・販売まで一貫した垂直統合型の展開」「健康志向と魚文化を重視した中食への取り組み」を基本方針に掲げ、中長期的な企業価値向上と持続的な成長の実現に取り組むとともに、食品メーカーとして消費者と従業員の安全と安心のために、安定した製造・供給を継続すべく、当社グループ全体で社会的に重要な使命の遂行に取り組んで参りました。

販売面では、セブン-イレブン向けデイリー食品において、焼き魚やカップデリの定番商品が前年同期と比較して販売個数を伸ばしていることに加えて、2024年1月から関東地域より販売を開始し、順次エリアを拡大していた「さばの味噌煮」が5月より全国販売となりました。また、6月よりカップデリの新商品「いかと海老ブロックリーオーリーブオイル仕立て」の全国販売を開始しております。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は、16,694百万円(前年同期比12.5%増)となりました。

損益面では、販売個数の増加に伴う製造効率の向上により、当中間連結会計期間における営業利益は1,491百万円(前年同期比44.1%増)、経常利益は1,495百万円(前年同期比39.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,010百万円(前年同期比46.9%増)となりました。

(2) 財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より1,394百万円増加して、16,496百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて944百万円増加し、11,239百万円となりました。この主な要因は、原材料及び貯蔵品が230百万円、受取手形及び売掛金が396百万円増加したことによるものであります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて449百万円増加し、5,257百万円となりました。この主な要因は、工場生産設備の導入等により有形固定資産が465百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より894百万円増加し、8,549百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて286百万円増加し、6,447百万円となりました。この主な要因は、買掛金が104百万円、1年内償還予定の社債が140百万円増加したことによるものであります。

固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて607百万円増加し、2,101百万円となりました。この主な要因は、社債が860百万円増加したことによるものであります。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて500百万円増加し、7,946百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払533百万円を実施した一方で、親会社株主に帰属する中間純利益1,010百万円の計上により利益剰余金が477百万円増加したことによるものであります。

この結果、当中間連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末より1.1ポイント減少し、48.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、4,284百万円となり、前連結会計年度末に比べ288百万円の増加となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は998百万円(前年同期は1,082百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益1,502百万円、減価償却費393百万円、仕入債務の増加額98百万円により資金が増加した一方で、売上債権の増加額393百万円、棚卸資産の増加額263百万円、法人税等の支払473百万円により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は824百万円 (前年同期は212百万円の支出) となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出802百万円と無形固定資産の取得による支出40百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は91百万円 (前年同期は849百万円の支出) となりました。これは、長期借入金の返済による支出104百万円、長期未払金の返済による支出99百万円、リース債務の返済による支出151百万円及び配当金の支払額533百万円により資金が減少した一方で、社債の発行による収入979百万円により資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,046,605	4,334,806
受取手形及び売掛金	3,349,529	3,745,556
商品及び製品	1,141,769	1,170,377
仕掛品	45,669	50,457
原材料及び貯蔵品	1,626,338	1,856,879
その他	85,488	82,182
貸倒引当金	△703	△919
流動資産合計	10,294,699	11,239,339
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	2,309,507	2,264,113
機械装置及び運搬具 (純額)	477,587	507,421
リース資産 (純額)	729,570	630,774
その他 (純額)	707,167	1,287,007
有形固定資産合計	4,223,832	4,689,317
無形固定資産	260,748	246,259
投資その他の資産	323,043	321,962
固定資産合計	4,807,624	5,257,539
資産合計	15,102,323	16,496,878

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,436,285	3,540,933
1年内償還予定の社債	-	140,000
1年内返済予定の長期借入金	195,588	181,348
未払法人税等	525,294	524,875
その他	2,004,231	2,060,806
流動負債合計	6,161,400	6,447,963
固定負債		
社債	-	860,000
長期借入金	306,387	215,713
資産除去債務	174,424	174,909
その他	1,013,551	851,348
固定負債合計	1,494,363	2,101,970
負債合計	7,655,763	8,549,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,048,375	1,048,375
資本剰余金	948,375	948,375
利益剰余金	5,412,676	5,890,173
自己株式	△662	△662
株主資本合計	7,408,766	7,886,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,098	7,199
繰延ヘッジ損益	△1,234	2,601
為替換算調整勘定	32,862	50,814
その他の包括利益累計額合計	37,727	60,615
新株予約権	66	66
純資産合計	7,446,559	7,946,944
負債純資産合計	15,102,323	16,496,878

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
 (中間連結損益計算書)
 (中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	14,835,148	16,694,915
売上原価	10,683,070	11,810,812
売上総利益	4,152,078	4,884,102
販売費及び一般管理費	3,116,955	3,392,419
営業利益	1,035,123	1,491,683
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,266	9,470
物品売却益	10,683	11,676
受取補償金	11,147	2,369
持分法による投資利益	1,657	—
その他	17,391	11,072
営業外収益合計	50,146	34,589
営業外費用		
支払利息	9,501	10,377
社債発行費	—	20,068
その他	1,101	342
営業外費用合計	10,602	30,788
経常利益	1,074,666	1,495,483
特別利益		
固定資産売却益	—	11,252
特別利益合計	—	11,252
特別損失		
投資有価証券評価損	—	4,274
リース解約損	420	—
特別損失合計	420	4,274
税金等調整前中間純利益	1,074,246	1,502,462
法人税等	386,297	491,615
中間純利益	687,948	1,010,846
親会社株主に帰属する中間純利益	687,948	1,010,846

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	687,948	1,010,846
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,025	1,100
繰延ヘッジ損益	6,383	3,836
為替換算調整勘定	10,753	17,951
その他の包括利益合計	19,162	22,887
中間包括利益	707,111	1,033,733
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	707,111	1,033,733

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,074,246	1,502,462
減価償却費	406,720	393,799
のれん償却額	21,192	—
受取利息及び受取配当金	△9,266	△9,470
支払利息	9,501	10,377
社債発行費	—	20,068
持分法による投資損益 (△は益)	△1,657	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	4,274
固定資産売却損益 (△は益)	—	△11,252
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	216
売上債権の増減額 (△は増加)	414,557	△393,517
棚卸資産の増減額 (△は増加)	713,184	△263,936
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,214,337	98,357
その他の資産の増減額 (△は増加)	56,499	9,936
その他の負債の増減額 (△は減少)	△65,816	110,648
その他	6,808	7,630
小計	1,411,633	1,479,594
利息及び配当金の受取額	494	505
利息の支払額	△9,649	△8,058
法人税等の還付額	33,406	6
法人税等の支払額	△353,072	△473,721
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,082,812	998,327
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△179,625	△802,658
有形固定資産の売却による収入	—	18,463
無形固定資産の取得による支出	△32,031	△40,598
投資有価証券の取得による支出	△881	△864
その他	△325	848
投資活動によるキャッシュ・フロー	△212,864	△824,809
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△272,075	△104,914
長期未払金の返済による支出	△101,058	△99,442
リース債務の返済による支出	△150,849	△151,159
社債の発行による収入	—	979,931
配当金の支払額	△325,398	△533,050
自己株式の取得による支出	△163	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△849,544	91,365
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,071	23,317
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	33,475	288,200
現金及び現金同等物の期首残高	2,636,613	3,996,605
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,670,088	4,284,806

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。